

自然環境レポート 2012

この自然環境レポートは、「JT の森積丹」の自然環境の特性を把握することを目的として、2011～2012 年度に実施した生態調査の結果を取りまとめたものです。

生態調査の対象となる「ＪＴの森積丹」は、札幌から 80km ほど北西側に位置する積丹町に位置し、美国川、積丹川、余別川の流域にそれぞれ 1～2 ヶ所、合計 4 ヶ所が設定されています（下図参照）。

この各所に設定された「JT の森」について、生態系の基礎となる植物をはじめ、哺乳類、鳥類、爬虫・両生類、魚類、昆虫類（水生昆虫を含む）、甲殻類などの様々な生物の分類群について、どのような種がどのような場所を利用しているかといった、詳細な生態調査を 1 年間にわたり実施しました。

調査は、専門スタッフによって実施され、それぞれの生物分類群の特性に合わせて、早朝・夜間に実施したり、また特殊な調査機材などを使用したりするなど、地域の生態系の構成要素がしっかり把握できるように配慮しました。



望遠鏡を使用した鳥類調査



冬季の任意踏査(冬期)



“やぶ”をかき分けての踏査(哺乳類)



コウモリ探知機を
使用したコウモリ調査



捕虫網を使った昆虫類調査



赤外線センサーカメラを活用した哺乳類調査



投網を使った魚類の調査



ライトトラップ調査
〔ブラックライトで走光性
昆虫類を採集する〕



※この地図は、国土地理院発行の20万分の1地形図(岩内)を使用したものである

【美国川流域エリア】のイメージ断面図

【積丹川流域エリア／積丹岳地区】

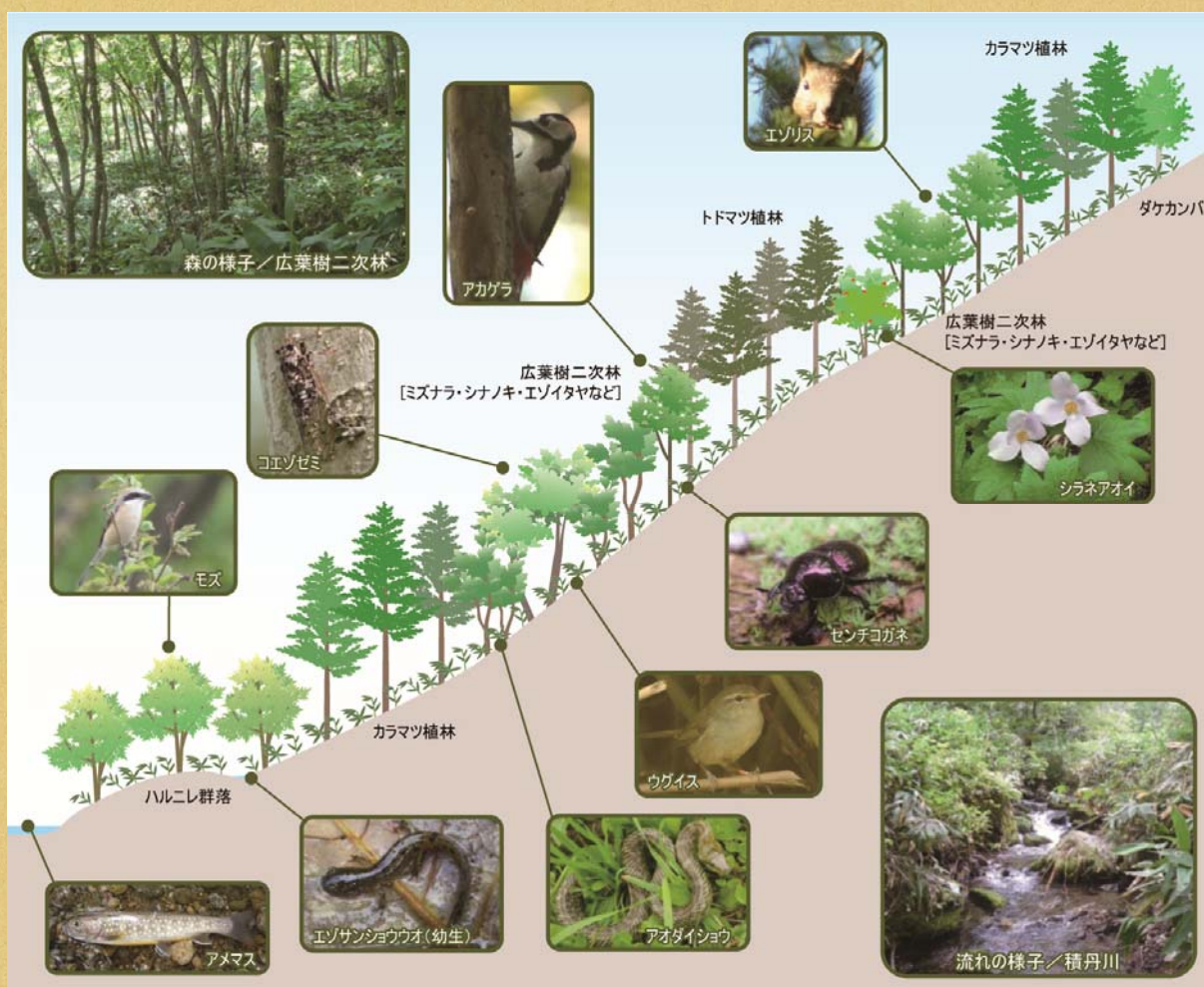
このエリアの森は、積丹岳の北西側の山麓斜面に位置します。標高は200～400mと標高差が大きいのが特徴です。J Tの森積丹のなかでは、最も内陸側に位置し、また積丹岳の登山道の入り口部分となっています。

植 森の大部分は、余別川流域エリアと同様に、エゾイタヤやミズナラなどの広葉樹二次林ですが、斜面上部には亜高山帯の代表的な樹木であるダケカンバが生育するなど、標高差の大きな積丹岳地区特有の自然の変化を読み取ることができます。また、斜面の下部にはハルニシがまとまって生育しているほか、中腹部にはカラマツ植林やトドマツ植林がみられます。林床にはクマイザサなどのササが発達しています。

動 低標高地を好むメジロから、高標高地を好むクロジなど、様々な鳥類が確認されており、積丹岳における鳥類の垂直分布を楽しむことができます。また、発達したササ原に、いわゆる“藪（やぶ）”を好むウグイスやヤブサメなどが多く生息している点は特徴的です。このほか、豊かな樹林を背景に、哺乳類ではエゾリスやテン、コテングコウモリ、昆虫類ではコエゾゼミ、センチコガネなど、樹林性の生きものが多く生息しているほか、谷間を縫うように流れる積丹川には、アメマスやサクラマス、ハナカジカなどの魚類が生息しています。

生きものの確認情報

分 類	確認種数
植物	185 種
哺乳類	10 種
鳥類	44 種
両生・爬虫類	4 種
魚類	3 種
昆虫類	218 種
水生生物	26 種



【積丹川流域エリア／積丹岳地区】のイメージ断面図

【積丹川流域エリア／牧場地区】

このエリアの森は、海岸台地上の緩傾斜地に広がります。他のエリアと比べると、湿潤な環境がみられたり、また農耕地と接していることもあって、人為的な影響を受けやすい環境となっています。

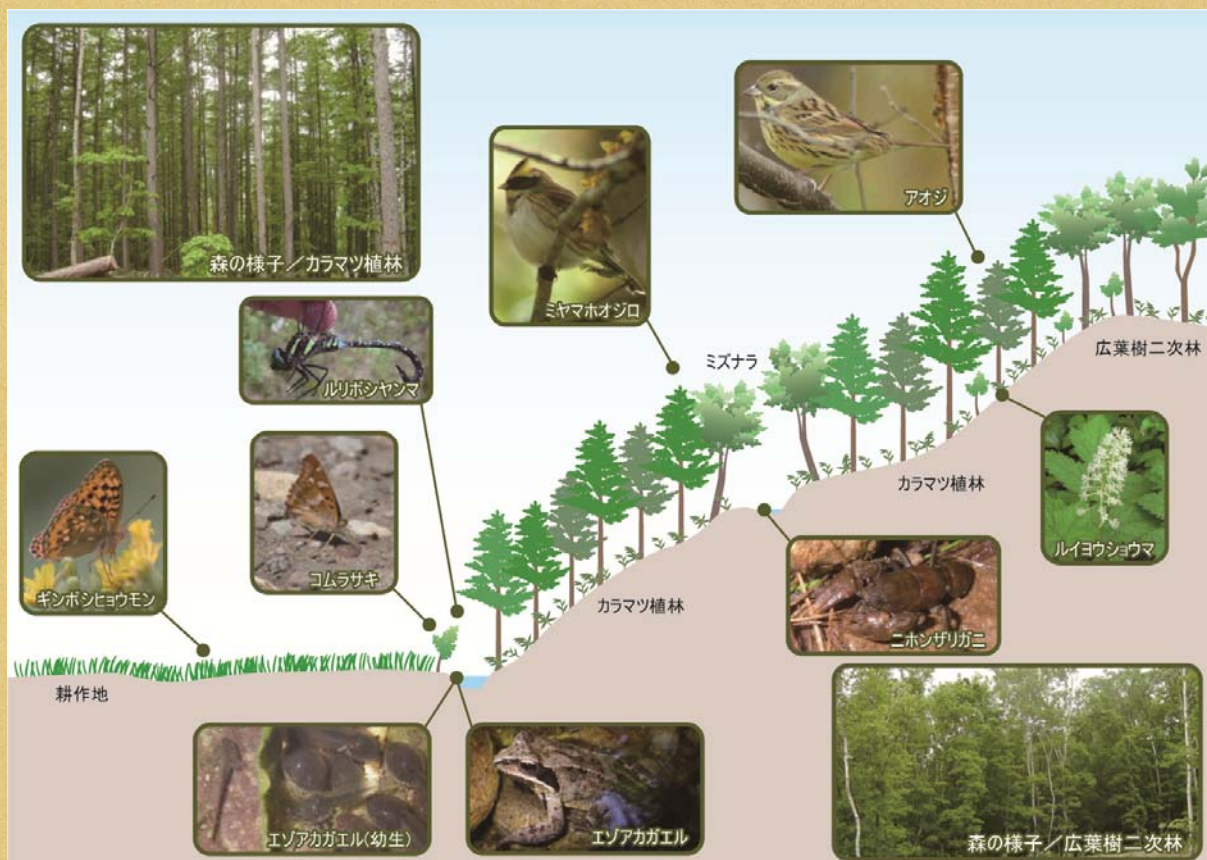
植 物 森の大部分は、ある程度の管理が行き届いた、カラマツ植林となります。林床にはクマイザサが広く生育しますが、刈り取りによって林床が管理された場所には、草本類や低木類が生育する場所もみられます。また、北側にはミズナラなどから構成される広葉樹二次林がみられますが、密生した若齢林となっています。

動 物 面積的に小さいこと、また森の主体がカラマツ植林であることから、哺乳類や鳥類などの行動圏の大きな生きものは、少ない状況にあります。しかし、一方で湿生な環境がみられることから、他のエリアではみられないミドリシジミやコムラサキなど、湿地に生育する樹木を食樹とする蝶類がみられるほか、ルリボシヤンマやエゾアカガエルが繁殖場所として利用していたりします。また、湧水流に生息するニホンザリガニが生息していたりするなど、他の森ではみられないような種がみられるのが特徴です。

外来種 牧場地区は、農耕地などが隣接することからダイコンなどを食草とするオオモンシロチョウ(国外移入種)や、稲などに随伴して侵入してきたと考えられるドジョウ、シナイモツゴ(ともに北海道には分布しない国内移入種)といった、ため池などに生息する魚類が生息しています。また、特定外来生物に指定されているアライグマが確認されています。

生きものの確認情報

分 類	確認種数
植物	130 種
哺乳類	5 種
鳥類	36 種
両生・爬虫類	3 種
魚類	2 種
昆虫類	170 種
水生生物	9 種



【積丹川流域エリア／牧場地区】のイメージ断面図

【余別川流域エリア】のイメージ断面図